



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス

上場取引所 東

コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高井 平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 村田 宣治

TEL 086-245-1112

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	47,957	3.3	764	7.5	770	9.2	380	△19.0
25年6月期第2四半期	46,425	44.1	711	158.2	705	160.4	470	338.1

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 394百万円 (△18.9%) 25年6月期第2四半期 486百万円 (889.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	67.88	—
25年6月期第2四半期	83.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	30,384	3,527	11.6	628.74
25年6月期	31,663	3,245	10.3	578.43

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 3,527百万円 25年6月期 3,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,821	△3.5	1,022	△34.3	980	△36.1	516	△45.2	92.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期2Q	6,250,000 株	25年6月期	6,250,000 株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	639,175 株	25年6月期	639,155 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期2Q	5,610,836 株	25年6月期2Q	5,610,845 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は479億57百万円（前年同期比 3.3%増）、連結経常利益は7億70百万円（前年同期比 9.2%増）、連結四半期純利益は3億80百万円（前年同期比 19.0%減）となりました。

なお、連結売上高及び連結経常利益の増収・増益に対し、連結四半期純利益が減益となったのは、前年同期に東京電力株式会社からサンセイ医機株式会社への受取賠償金1億36百万円を特別利益として計上した影響によるものです。

セグメントごとの業績は、次の通りです。

〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、東日本において前年同期の病院増改築等にもなう初期在庫の販売の反動がありました。顧客開拓が進んだ島根・広島・山口・徳島・香川・高知で二桁成長しました。また、乳がんによる乳房全摘出後の再建術で保険適用となった人工乳房の手術件数が東京で着実に増加し、手術関連消耗品全体の売上高は、前年同期比101.6%となりました。

整形外科消耗品は、基幹病院で人工関節の手術件数が増加した岡山・徳島・香川・愛媛で二桁成長し、整形外科消耗品全体の売上高は前年同期比105.5%となりました。また、再生医療分野において本邦オリジナル技術である自家培養軟骨の取り扱いもスタートしました。

循環器消耗品は、不整脈領域で高い専門知識を要するカテーテルアブレーション（心臓の脈が速くなる頻脈の原因となる心筋組織を高周波で焼灼）とハイパワーデバイス（ペースメーカー機能を持つ除細動器）が二桁成長を続けています。また、新規展開地域の東京も前年同期比122.6%となりましたが、一部の基幹病院で手術件数の減少があり、循環器消耗品全体の売上高は前年同期比100.8%となりました。

その他、中国・四国地域で設備・備品の販売が好調であったため、医療器材事業は、売上高418億29百万円（前年同期比 2.7%増）、営業利益7億76百万円（前年同期比 2.1%増）となりました。

〈ライフサイエンス事業〉

診断薬領域においては、診断機器の販売、基幹施設での試薬の販売が好調を保ち、売上高は前年同期比114.4%となりました。

基礎研究領域は、当社顧客への科学研究費、私学助成金給付がともに絞り込まれたことに加え、新規顧客開拓が進まなかったため、売上高は前年同期比61.3%となりました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高19億71百万円（前年同期比 7.8%減）、営業損失12百万円（前年同期 営業損失32百万円）となりました。

〈SPD事業〉

SPD事業は、大規模病院の手術件数の増加により売上高が伸長したことに加え、新規契約と契約変更による管理料収入の増加がありました。また、生産性改善をテーマに物流・倉庫管理の合理化と作業の効率化を進めているプロジェクトが利益を押し上げています。

その結果、SPD事業は、売上高54億43百万円（前年同期比 14.4%増）、営業利益42百万円（前年同期比 30.5%増）となりました。

〈介護用品事業〉

介護用品事業は、主力の在宅ベッドレンタルが順調に増加したことに加え、福祉用品の販売も伸張したことから、既存店舗の売上高は前年同期比121.4%となりました。また、前年に開設した神戸・松山支店も顧客開拓が順調に進みました。

その結果、介護用品事業は、売上高6億6百万円（前年同期比 25.5%増）、営業利益28百万円（前年同期比 51.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は303億84百万円となり、前連結会計年度と比べ12億78百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が13億6百万円、商品が5億20百万円増加した一方で、現金及び預金が32億8百万円減少したことによるものです。

また、負債は268億57百万円となり、前連結会計年度と比べ、15億60百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2億46百万円増加した一方で、短期借入金が9億64百万円、未払法人税等が5億11百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は35億27百万円となり、前連結会計年度と比べ、2億82百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益により3億80百万円増加した一方で、配当金により1億12百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、1.3ポイント増加し、11.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は前連結会計年度末に比べ30億55百万円減少し、34億77百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、19億37百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益により7億26百万円、仕入債務の増加により2億46百万円それぞれ増加した一方で、売上債権の増加により13億6百万円、たな卸資産の増加により5億20百万円、法人税等の支払額により7億円それぞれ減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、2億1百万円となりました。

主な要因は、定期預金払戻により2億10百万円増加した一方で、定期預金預入により56百万円、有形固定資産の取得により2億98百万円、無形固定資産の取得により63百万円それぞれ減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、9億16百万円となりました。

主な要因は、短期借入金が5億44百万円、長期借入金が2億28百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

おおむね計画通りに推移しており、平成25年8月8日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,915,640	3,707,121
受取手形及び売掛金	16,179,569	17,485,843
商品	3,258,284	3,779,098
その他	678,997	728,247
流動資産合計	27,032,491	25,700,311
固定資産		
有形固定資産	2,899,375	3,054,396
無形固定資産		
のれん	360,128	302,649
その他	200,716	227,580
無形固定資産合計	560,844	530,229
投資その他の資産	1,170,317	1,099,975
固定資産合計	4,630,537	4,684,601
資産合計	31,663,029	30,384,913
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,785,521	21,031,933
短期借入金	3,795,043	2,830,436
未払法人税等	628,308	116,636
賞与引当金	15,394	14,973
その他	1,268,885	860,907
流動負債合計	26,493,153	24,854,885
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	794,248	986,295
退職給付引当金	329,166	330,842
役員退職慰労引当金	683,899	555,564
その他	87,069	109,594
固定負債合計	1,924,383	2,002,296
負債合計	28,417,536	26,857,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	3,045,594	3,314,230
自己株式	△834,122	△834,142
株主資本合計	3,162,972	3,431,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,520	96,142
その他の包括利益累計額合計	82,520	96,142
純資産合計	3,245,493	3,527,730
負債純資産合計	31,663,029	30,384,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	46,425,457	47,957,544
売上原価	41,610,729	42,923,848
売上総利益	4,814,728	5,033,696
販売費及び一般管理費	4,103,229	4,268,757
営業利益	711,498	764,938
営業外収益		
受取利息	868	762
受取配当金	1,130	2,115
受取保険金	7,807	16,202
持分法による投資利益	181	448
その他	20,642	20,316
営業外収益合計	30,630	39,845
営業外費用		
支払利息	31,916	24,262
その他	4,293	9,669
営業外費用合計	36,209	33,932
経常利益	705,919	770,852
特別利益		
有形固定資産売却益	850	9,035
受取補償金	136,794	—
受取和解金	—	13,500
特別利益合計	137,645	22,535
特別損失		
有形固定資産売却損	—	1,870
有形固定資産除却損	2,299	7,340
減損損失	—	57,752
役員退職慰労金	5,000	—
特別損失合計	7,299	66,963
税金等調整前四半期純利益	836,265	726,424
法人税、住民税及び事業税	247,761	114,507
法人税等調整額	118,463	231,062
法人税等合計	366,224	345,570
少数株主損益調整前四半期純利益	470,041	380,853
四半期純利益	470,041	380,853

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	470,041	380,853
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	16,356	13,621
その他の包括利益合計	16,356	13,621
四半期包括利益	486,397	394,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	486,397	394,475
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	836,265	726,424
減価償却費	120,417	111,132
のれん償却額	57,479	57,479
減損損失	—	57,752
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30,392	1,665
受取利息及び受取配当金	△1,999	△2,877
受取補償金	△136,794	—
支払利息	31,916	24,262
持分法による投資損益 (△は益)	△181	△448
有形固定資産売却損益 (△は益)	△850	△7,164
有形固定資産除却損	2,299	7,340
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,490,835	△1,306,274
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△632,237	△520,813
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,359,820	246,411
その他	△206,744	△613,361
小計	△91,838	△1,218,472
利息及び配当金の受取額	2,039	2,875
利息の支払額	△34,719	△25,070
補償金の受取額	147,764	—
法人税等の支払額	△364,595	△700,555
法人税等の還付額	33,458	3,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	△307,892	△1,937,415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	7,800	210,065
定期預金の預入による支出	△31,090	△56,870
有形固定資産の取得による支出	△91,765	△298,977
有形固定資産の売却による収入	2,286	5,979
無形固定資産の取得による支出	△17,804	△63,821
投資有価証券の取得による支出	△8,659	△4,160
投資有価証券の売却による収入	—	6,090
その他	498	511
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,734	△201,182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	29,866,100	26,833,000
短期借入金の返済による支出	△28,463,000	△27,377,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△222,800	△728,560
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
自己株式の取得による支出	—	△20
配当金の支払額	△56,188	△112,185
その他	△27,548	△21,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,086,563	△916,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	639,936	△3,055,326
現金及び現金同等物の期首残高	5,466,374	6,532,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,106,310	3,477,475

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	39,124,004	2,121,977	4,697,258	482,216	46,425,457	—	46,425,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,586,095	17,922	59,183	951	1,664,152	△1,664,152	—
計	40,710,100	2,139,900	4,756,441	483,167	48,089,610	△1,664,152	46,425,457
セグメント利益 又は損失(△)	760,298	△32,109	32,395	18,586	779,171	△67,673	711,498

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△67,673千円には、セグメント間取引消去388千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△68,061千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	40,015,039	1,950,900	5,386,057	605,547	47,957,544	—	47,957,544
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,814,291	21,037	57,054	710	1,893,093	△1,893,093	—
計	41,829,330	1,971,937	5,443,112	606,257	49,850,638	△1,893,093	47,957,544
セグメント利益 又は損失(△)	776,012	△12,571	42,265	28,089	833,795	△68,857	764,938

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△68,857千円には、セグメント間取引消去975千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△69,832千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療器材事業」セグメントにおいて、日光医科器械株式会社での新社屋建設の決定に伴い旧社屋に係る減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において54,089千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。